

申告書等の記入例

申告年月日を記入してください。

受付印	令和 年 月 日 埼玉県和光市長 宛
-----	-----------------------

令和 8 年度

償却資産申告書(償却資産課税台帳)

第二十六号様式提

6又は7の連絡先は必ず記入してください。
問い合わせの際に使用します。

所 有 者 者	(ふりがな) 住 所 又は納税通知書 送達先	〒 -	3 個人番号又は 法人番号	8 短縮耐用年数の承認 <input checked="" type="checkbox"/> 有(無)
	(ふりがな) 氏 名 法人はその名称 及び代表者氏名	資産の所有者の住所、氏名（法人名）を記入してください。		
		5 (資本金等の額) (百万円)	10 非課税該当資産 <input checked="" type="checkbox"/> 有(無)	
		6 事業開始年月 年 月	11 課税標準の特例 <input checked="" type="checkbox"/> 有(無)	
		7 この申告に応答する 者の係及び氏名 (電話)	12 特別償却又は圧縮記帳 <input checked="" type="checkbox"/> 有(無)	
		8 税理士等の氏名 (電話)	13 税務会計上の償却方法 <input checked="" type="checkbox"/> 定率法・定額法	
			14 青色申告 <input checked="" type="checkbox"/> 有(無)	
			15 市(区)町村内における事業所等	

資産の種類	取 得 価 額				該当するものに○を付けてください。 ① ② ③
	前年前に取得したもの(イ)	前年中に減少したもの(ロ)	前年中に取得したもの(ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (二)	
1 構築物					①
2 機械及び装置					② ③

令和7年1月1日現在の
資産の取得価額の合計を、
種類別に記入してください。

令和7年中に減少した
資産の取得価額の合計を、
種類別に記入してください。

令和7年中に取得した
資産の取得価額の合計を、
種類別に記入してください。

令和8年1月1日現在の
資産の取得価額の合計を、
種類別に記載してください。
(イ)-(ロ)+(ハ)=(二)で算出します。

6 及び備品					
7 合計					17 事業用家屋の所有区分
資産の種類	評 価 額 (ホ)	決 定 価 格 (ヘ)	課 稅 標 準 額 (ト)		18 備考 (添付書類等)
1 構築物					
2 機械及び装置					
3 船舶					
4 航空機					
5 車両及び 運搬具					
6 工具、器具 及び備品					
7 合計					

評価額(ホ)、決定価格(ヘ)、課税標準額(ト)は、
電算処理方式により申告を行う場合に記入してください。

※ 課税標準額の特例の適用を受ける資産があるときは、
決定価格に特例率を乗じて得た額が課税標準額になります。

次のような事項があれば記入してください。
 ・資産を所有していない 「資産なし」
 ・資産の増減がない 「増減なし」
 ・廃業、解散、転出等の年月日
 ・その他連絡事項

■初めて申告する場合

※ 所有者コード			※	令和 8 年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)						所 有 者 名		枚のうち		
										○○○株式会社		枚 目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要
										率	コード			
1	2		冷蔵庫	1	R7.8	963,944	6	0.840	809,712				1・2 3・4	
2													1・2 3・4	

資産種類は、当てはまる番号を記入してください。
 1 : 構築物 4 : 航空機
 2 : 機械及び装置 5 : 車両及び運搬具
 3 : 船舶 6 : 工具、器具及び備品

資産の名称を記入してください。

資産の取得年号はアルファベットで記入してください。
 S : 昭和 H : 平成 R : 令和

取得価額、耐用年数を必ず記入してください。

増加事由はいずれかに○を付けてください。
 1 : 新品取得
 2 : 中古品取得
 3 : 移動による受け入れ
 4 : その他

■前年度に一般方式で申告している場合

※ 所有者コード			※	令和 8 年度 種類別明細書(増加資産・全資産用)						者 名		枚のうち		
										○○○株式会社		枚 目		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要
										率	コード			
1	2	1001	冷凍庫	1	H17.4	1,000,000	6						1・2 3・4	減少
2	6	1002	湯沸し器	2 1	H23.9	50,000	25,000	6	0.681	1,250			1・2 3・4	一部減少
3	6		テレビ	1	R7.7	200,000	5	0.915	163,000				1・2 3・4	増加

令和 7 年度以前に一般方式で申告された方には、種類別明細書に全資産が印刷されています。
 資産の減少、増加、修正等がある場合は記入してください。

増加資産があった場合は、追加で記入し、
 摘要欄に「増加」と記入してください。

一部減少の場合は、数量・取得価額に抹消線を引き、
 減少後の数量・取得価額を記入の上、
 摘要欄に「一部減少」と記入してください。